



ぽかぽかたいむの取り組み (つばさ組)

劇あそび

～ぼんたのじどうはんばいき～



あらすじ

今年のぽかぽかたいむでは「ぼんたのじどうはんばいき」の劇あそびをします。この絵本はぼんたが町で見かけた自動販売機に興味を持ち、実際に自分で自動販売機を作って「森の仲間たちにも使ってもらおう」というお話になっています。その中で物ではない、思いもよぬ商品のお願いが出たりするといった関わりも見られます。

1、ぼんたはなんで自動販売機を作ったんだろう？

つばさ組のこどもたちも絵本に出てくる自動販売機に興味津々♪
「じどうはんばいきってジュース出るよね!」「あたりがあるのもあるよね」と自動販売機の話がでてきました。
その中で「なんでぼんたは自動販売機を作ったのだろう?」という疑問も挙がりました。こどもたちの答えは・・・「わからない」でした。
「じゃあ自動販売機を作ってみんなで遊んでみたらぼんたの気持ちわかるかも!」ということでつばさ組の自動販売機作りが始まりました。

ぼくが字を書きました



自動販売機の色を塗ろう♪



2025. 11. 27

2、自動販売機で遊ぼう!!

自動販売機が完成するとさっそく遊び始めるこどもたち。「〇〇ください」と商品を葉っぱのお金を入れながら、欲しいものを伝えています。初めは保育者がぼんた役になってみんなが森の動物になりきったり、交代したりしてみんないろんな役になりきり遊び込みました♪

ねぎをください



ネックレスをください

あ～ぶくたった～♪



3、商品は何にしようか？

森の動物は「きつねとうさぎ」になりきることが多く、「その動物たちは自動販売機になにが欲しいっていうかな?」聞いてみると、「きつねは絵本でネックレスって言うてるね」「うさぎは森の中をジャンプしてきてお腹空くからご飯にしよう」とのことでした。そうと決まれば商品作りのスタートです。

みてみて～

いただきま～す



4、ぼんたはきっと、、、

実際に遊んでみてぼんたの気持ちをこどもたちに聞いてみると、「ぼんたはきっとお友達に喜んでほしかったのかもね♡」というこどもたちらしい答えでした。

絵本の世界に触れて遊んでみる事で、物語に出てくる動物の気持ちについて考えてみたり、実際に自分たちも作って遊んでみて思いを知ってみよう!という姿が見られました。動物になりきって森の中で遊ぶ時は「いとぐるま」や「かごめかごめ」「あぶくたった」といった遊びをしてみたりと絵本にはない物語の展開をこどもたち自身がアイデアを出し合ってつばさ組ならではのオリジナリティが溢れる内容になっていきました。ぽかぽかたいむではそんなこどもたちの様子を暖かい目でみていただけたらと思います。

ぼんたの世界の森を表現しています♪

